

～ イマガワがデザインに拘ったこと～

国産材(杉・檜)を使った建具は古民家や和風住宅をイメージされることが多い。目指したのは新日本のモダンな住まいをコーディネートできる建具です。2008年から造形デザイナーとともに素材の良さを活かしながら、新時代の「侘び寂び」感のある雰囲気醸し出せる建具を開発して参りました。

■日本らしさ

「日本の伝統と住文化を基本に新しい感性を注ぎ込み、百年使っても飽きのこない」を念頭に「品性」のある建具を目標にしました。

コンセプト「百年の時を刻む”上質建具”」

- 1) 日本らしいデザイン
- 2) 国産材の特徴を生かす
- 3) 日本技術の粋を集めてつくる
- 4) 品よく上質なデザイン
- 5) 末永く使っても飽きがこない



開発商品

■絶妙なバランス

「細かなディテールまで拘らないといいデザインにはならない」との考えで各部分を徹底的に見直しました。美しいデザインには縦框と横棧、組子の巾と本数とピッチなどのバランスがポイントとなります。試作と検証を繰り返しながら **0.5 ミリ単位で調整**をしました。

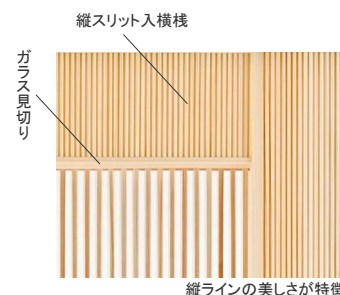


組子と隙間の調整

■繊細美

フラッグシップ「漣 REN」を基軸としたすべての建具デザインは**直線ラインのスマートさと日本らしい繊細さ**を特徴としました。左右の縦框と組み合わせられる上棧、下棧には縦スリットを入れて横のラインを極力目立たないようにしました。ガラスと横棧の見切りも角面を取り8ミリ巾を3ミリ巾に見えるよう工夫しています。

二層構造の中空ポリカ(ツインカーボ)の中心部に細かなヒゴを入れ、柔らかな素材感とすっきりとしたイメージを強調しています。そのヒゴは正面方向を柾目にしてよりスタイリッシュな印象にしました。また杉材の赤味白味をあえて組み合わせることでシンプルな中にも自然感が感じられるなど、日本らしい細やかなセンスがデザイン性を高めています



縦ラインの美しさが特徴